

全国



第 2225 号

ぜんこくしぎかいじゅんぱう

市議会旬報

令和5年
(2023年) 4月15日毎月3回5の日に発行
発行 全国市議会議長会〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03 (3262) 5234
旬報 TEL 03 (3262) 2309
発行人 橋本 嘉一
https://www.si-gichokai.jp

議長会HP

内閣府

政治分野への女性の参画拡大へ
シンポジウム 開催

内閣府は3月27日、「政治分野への女性の参画拡大に向けたシンポジウム（共催＝総務省、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会）」をオンラインで開催した。

我が国では、国会、地方議会ともに、議員に占める女性の割合が非常に低く、地域における人口減少や高齢化が進行する中で、地方議会議員のなり手不足への対応も大きな課題となっている。

当日は、基調講演やパネルディスカッションを通じて、地方議会等におけるハラスメントの防止や議員活動と家庭生活との両立、人材育成に資する取組等の事例を紹介。女性の政治参画の拡大に向けた方策について、地方議会議員のなり手不足の解消も含め、様々な観点から議論を深めた。

本紙では、3回にわたり基調講演、パネルディスカッションの概要をお伝えする（2・3面）。

プログラム

開会挨拶

小倉将信 内閣府特命担当大臣（男女共同参画）

基調講演

「多様性ある地方議会へ」

大山礼子氏（駒澤大学法学部教授）

パネルディスカッション第一部

「政治分野におけるハラスメントの防止、議員活動と家庭生活の両立について」

■コーディネーター

三浦まり氏（上智大学法学部教授）

■パネリスト

岩崎弘宜氏（茨城県取手市議会事務局次長）

杉田弘也氏（神奈川大学経営学部教授）

濱田真里氏（Stand by Women 代表）

安武弘光氏（福岡県議会事務局副理事兼法務監）

パネルディスカッション第二部

「政治分野への女性の参画拡大をどのように進めるか」

■コーディネーター

大山礼子氏（駒澤大学法学部教授）

■パネリスト

江藤俊昭氏（大正大学社会共生学部公共政策学科教授）

川崎レナ氏（Earth Guardians Japan 代表）

杉田弘也氏（神奈川大学経営学部教授）

寺島 渉氏（地域政策塾 21 代表）

三浦まり氏（上智大学法学部教授）

村上 玲氏（一般財団法人村上財団代表理事）

脇田喜見枝氏（徳島県未来創生文化部長 次長（こども・青少年担当））

閉会挨拶

尾身朝子 総務副大臣

地方議会議長会総会 スタート

北信越市議会議長会 第98回総会

金厚北信越市議会議長会会長
(富山市)

全国の9地方市議会議長会は4～6月にかけて定期総会を開催し、会長はじめ役員を選挙するとともに、国に対する要望議案を決定する。各地方市議会議長会は、要望議案のうち、それぞれ3件を6月14日開催の本会第99回定期総会に部会提出議案として提出する。

北信越市議会議長会は4月6日、富山市で第98回定期総会を開催。新会長に金厚有豊富山市議長に金厚有豊富山市議長を議長を選任した。議案審議では、会長提出議案の令和5年度会計歳入歳出予算、令和5年度慶弔基金会計歳入歳出予算に続き、各県市議会議長会から提出された議案19件について決定し、うち3件を本会定期総会への提出議案にすることについて会長に一任した。

北信越市議会議長会 各県市議会議長会提出議案

	件 名	提出 県名
1	原子力防災対策のさらなる充実と安全・安心の確保	福 井
2	原子力防災対策の強化及び周辺地域の安全確保	石 川
3	中部縦貫自動車道及び一般国道8号の整備促進	福 井
4	日本海沿岸東北自動車道の整備促進	新 潟
5	北陸新幹線の整備促進	福 井
6	北陸新幹線の早期完成等	石 川
7	河川の防災・減災対策と河川環境整備	福 井
8	上越・北陸新幹線と信越本線の直通運転化による高速化の推進及び信越本線等の利便性の維持・向上	新 潟
9	JRローカル線の存続	長 野
10	地方公共交通の活性化に向けた支援の強化	富 山
11	空き家対策に対する財政支援	新 潟
12	北朝鮮による拉致問題の早期解決	〃
13	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立	長 野
14	水道施設の強靱化推進	〃
15	物価高騰対策の強化及び地方財政措置の拡充	石 川
16	農業農村整備事業関連予算の確保と農業生産資材価格高騰への支援	富 山
17	橋梁の老朽化対策への支援	石 川
18	産婦人科医師並びに小児科医師の確保対策	富 山
19	学校給食施設の整備に関する財源措置の充実	〃

多様性のある議会を実現するには



女性議員の割合が少ないことは、日本の政策決定が多様性を欠いている実態を象徴しており、多様性のある議会を実現するには、女性議員を増やすことが第一歩である。

政治分野における男女共同参画を効果的かつ積極的に推進し、男女が共に参画する民主政治の発展に寄与することを目的として、2018年に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が公布・施行された。同法では衆議院、参議院及び地方議会の選挙において、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指すことなどを基本原則とし、国及び地方公共団体の責務や、政党等が所属する男女のそれぞれについて、目標を定め

女性議員を増やすためにできることは？

地方議会の取り組み

住民と協働の試み、議会運営の見直し
女性議員が活躍できる議会のあり方を考える

政党の取り組み

マスメディアの報道も追い風に
有権者が関心を持ち、政党に「競争」させる

地域社会の変化

地域リーダーとして活躍する女性の増加

市民の活動

女性や若者を対象とした啓発活動や立候補支援

※講演資料より抜粋

る等の自主的な取組に努めることをうたっている。さらに2021年には、男女を問わず立候補や議員活動等をしやすい環境整備などが必要であるとして、同法の改正がなされ、政党等がより積極的な取組を行うよう促すとともに、国及び地方公共団体の施策を強化することなどが明記され、セクハラ、マタハラ等の発生防止に資する研修の実施等が盛り込まれた。

一方、議員になっても女性として差別やハラスメントを受けている例も多いとの調査結果もある

選挙制度の見直しの必要性



戦後、地方議会がスタートした時、議会によつては95%を超えるような投票率があった。しかし、その後、投票率は右肩下がり、町村議会議員の選挙が何と5割を維持しているが、ほかはすべて5割を切っており、2人に1人は選挙に行かない状況である。

一つには、今の地方議会の選挙制度に問題があると思う。

都道府県と政令指定都市は選挙区があるが、選挙区ごとの定数にばらつきが大きくなっている。ある県では、県議会議員の選挙区のうち、過半数の選挙区が1人区で、中心部の選挙区は定数が17人となっている。農村地域は1人区が多く、同地域に強い政党に有利に働いて議席を独占し、当選者が固定化して、無投票当選も増える傾向にある。

一方、政令指定都市以外の市及び特別区、町村議会では、政治学用語で大選挙区単記非移譲式という制度を用いている。区域全体が一つの選挙区で、多数の候補者の中から有権者が選べるのは1人のみ。定数の多い議会では、有権者の1%以下の投票でも当選しており、地域や各種団体代表が後押しする議員は、指定席になりがちという弊

り、一般論として家庭との両立が困難で、政治は男性が行うものとの意識の問題があり、これを変えないとなかなか世の中は変わらない。

女性議員を増やすためには、女性議員を増やすことができることは、地方議会の取り組みや政党の取り組みなど、それぞれの立場でやるべきことはある(左上図)。

地方議会の取組としては、住民との協働の試み、議会運営の見直し、女性議員が活躍できる議会のあり方を地方議会自身で積極的に考えること。政党は、マスメディアの報道も追い風にすること。一方で有権者も関心を持ち、政党に競争を促すことが必要と思われる。

また、地域リーダーと

新人の立候補を促すには

選挙運動の自由化や選挙運動期間の延長も考えるべき

どんどん短くなっている選挙運動期間

	1950	1951	1952	1956	1969	1983年
都道府県	30	20		15	12	9日
指定都市	20			15	12	9日
指定都市以外の市	20		15	10		7日
町村	20		10	7		5日

※基調講演資料より地方議会議員の選挙運動期間の変遷を抜粋

害もある。

これは改革案になるが、制限連記制がいいのではないかと思う。現制度では1人しか選べないが、例えば、2人や3人選べるようになる、女性や若者など、これまでの平均的な議員像とは異なる候補者に票を投じる可能性が出てくると思う。戦後に一回、衆議院で実施されたが、このとき一挙に39人の女性議員が誕生し、世界でもトップクラスの女性比率だったと思う。

そのほか、新人立候補を促すために、選挙運動期間の延長なども考えるべきだと思う。選挙運動期間については、今は少し短すぎるのではと感じており、新人の立候補者がどれだけ自分の主張を有権者に伝えられるかというのは非常に疑問に思う。多様な層の参加を促し、投票率を上げるうえでも大変重要ではないかと思う。

自治体病院協
正副会長・監事・相談役会議



東病院協 会長
(名寄市)

全国自治体病院経営都市議会協議会(会長 東千春名寄市議会議長)は 4月6日、都内で正副会

長・監事・相談役
会議を開催した。
協議では、総

会決議(案)について了
承し、5月29日開催の第
79回理事会に提案するこ
ととした。また、令和4
年度決算、令和5年度事
業計画案、会議・活動日程
案、令和5年度予算案な
どについても了承、理事
会に提案することとした。

議会人事

- ▽議長 多田 勉(11・10)
- ▽遠野 杉本成一(3・17)
- ▽かほく 中川加津代(3・24)
- ▽高岡 岡部紀久雄(3・24)
- ▽甲州 田中栄志(3・24)
- ▽富士見 笹田 守(3・27)
- ▽洲本 荒川栄悦(11・10)
- ▽副議長 丸井一範(3・17)
- ▽遠野 渡辺秀雄(3・24)
- ▽本宮 深瀬優子(3・24)
- ▽富士見 高島久美子(3・27)
- ▽洲本 高島久美子(3・27)
- ▽事務局長 岡田和広(4・1)
- ▽北見 岩尾弘敏(4・1)
- ▽網走 三浦 悟(4・1)
- ▽歌志内 高橋純一(4・1)
- ▽黒石 高橋純一(4・1)

- ▽遠野 奥寺国博(4・1)
- ▽釜石 山崎教史(4・1)
- ▽気仙沼 小松広和(4・1)
- ▽多賀城 田畑裕一(4・1)
- ▽登米 永浦広巳(4・1)
- ▽大館 乳井浩吉(4・1)
- ▽由利本荘 鎌田直人(4・1)
- ▽潟上 宮崎久春(4・1)
- ▽鶴岡 佐藤玲子(4・1)
- ▽村山 富塚真紀子(4・1)
- ▽東根 鈴木敬一(4・1)
- ▽いわき 久保木哲哉(4・1)
- ▽相馬 遠藤 真(4・1)
- ▽小千谷 和田計房(4・1)
- ▽十日町 富井陽介(4・1)
- ▽加賀 山田圭一(4・1)
- ▽羽咋 岡嶋克己(4・1)
- ▽野々市 押田浩三(4・1)

- ▽大野 田中裕美子(4・1)
- ▽松本 河村知佳(4・1)
- ▽塩尻 山崎浩明(4・1)
- ▽調布 半澤清美(4・1)
- ▽狛江 鈴木 実(4・1)
- ▽東大和 吉沢寿子(4・1)
- ▽大田(東京) 杉山良樹(4・1)
- ▽杉並 喜多川和美(4・1)
- ▽豊島 猪飼敏夫(4・1)
- ▽上野原 関戸 治(4・1)
- ▽甲州 中村賢一(4・1)
- ▽中央(山梨) 田島幸一(4・1)
- ▽古河 小林史典(4・1)
- ▽ひたちなか 石崎聡一郎(4・1)
- ▽常陸大宮 内田英徳(4・1)
- ▽稲敷 椎野茂夫(4・1)
- ▽かすみがうら 金子俊文(4・1)
- ▽行方 坂本博之(4・1)
- ▽つくばみらい 中島 毅(4・1)
- ▽宇都宮 的場征史(4・1)
- ▽那須塩原 高久 修(4・1)
- ▽渋川 石北 仁(4・1)
- ▽川越 黒澤博行(4・1)
- ▽東松山 関根紀光(4・1)
- ▽羽生 鈴木日出夫(4・1)
- ▽戸田 安部孝良(4・1)
- ▽幸手 小川伸朗(4・1)
- ▽日高 林 政男(4・1)

- ▽ふじみ野 嶋村武彦(4・1)
- ▽茂原 宮本弘美(4・1)
- ▽勝浦 神戸哲也(4・1)
- ▽香取 宇井正志(4・1)
- ▽山武 秋葉一徳(4・1)
- ▽沼津 新井寿明(4・1)
- ▽熱海 鈴木 肇(4・1)
- ▽伊東 富岡 勝(4・1)
- ▽焼津 大石一宏(4・1)
- ▽袋井 石川敏之(4・1)
- ▽下田 藤井数仁(4・1)
- ▽裾野 湯山博之(4・1)
- ▽岡崎 青木善信(4・1)
- ▽清須 後藤邦夫(4・1)
- ▽名張 及川修子(4・1)
- ▽大垣 古田義弘(4・1)
- ▽関 岩井裕子(4・1)
- ▽恵那 熊谷春彦(4・1)
- ▽土岐 小野恭裕(4・1)
- ▽本巣 大久保守康(4・1)
- ▽東大阪 北村 正(4・1)
- ▽池田 西山 真(4・1)
- ▽高槻 土井恵一(4・1)
- ▽枚方 横尾佳子(4・1)
- ▽交野 井上成博(4・1)
- ▽綾部 井上浩豪(4・1)
- ▽八幡 田中孝治(4・1)
- ▽守山 高橋和也(4・1)
- ▽東近江 田井中外和(4・1)
- ▽長浜 中川京之(4・1)
- ▽明石 村田 充(4・1)
- ▽芦屋 茶嶋奈美(4・1)
- ▽伊丹 佐藤文裕(4・1)

- ▽豊岡 山口繁樹(4・1)
- ▽加古川 荻野和寿(4・1)
- ▽たつの 近藤伸也(4・1)
- ▽丹波篠山 中野 朗(4・1)
- ▽南あわじ 喜田憲和(4・1)
- ▽葛城 板橋行則(4・1)
- ▽御坊 塩崎 完(4・1)
- ▽田辺 前溝浩志(4・1)
- ▽紀の川 吉本年史(4・1)
- ▽松江 田中孝一(4・1)
- ▽安来 植田真矢樹(4・1)
- ▽三原 森田美葉(4・1)
- ▽防府 寺畑俊孝(4・1)
- ▽岩国 富岡啓二(4・1)
- ▽阿南 岡部仁史(4・1)
- ▽美馬 篠原孝志(4・1)
- ▽善通寺 吉田誠二(4・1)
- ▽東かがわ 江本寛子(4・1)
- ▽三豊 西川昌幸(4・1)
- ▽今治 鳥生敬二(4・1)
- ▽西条 曾我部道昌(4・1)
- ▽西予 片山勇一(4・1)
- ▽久留米 大野浩亮(4・1)
- ▽うきは 浦 聖子(4・1)
- ▽対馬 國分幸和(4・1)
- ▽南島原 松藤義孝(4・1)
- ▽熊本 江 幸博(4・1)
- ▽人吉 桑原 亨(4・1)
- ▽日田 工藤聖二(4・1)
- ▽日向 濱田卓己(4・1)
- ▽鹿児島 尾堂昭二(4・1)

新庁舎落成

▽千葉市(千葉県)

〒260-8722

千葉市中央区千葉港1-1
電話番号、ファクス番号
は変更なし

ユニバーサルデザイン
を取り入れ、傍聴席には
音声の聞こえを支援する
磁気ループを導入したほ
か、小さなお子さまをお
連れの方などが利用でき
る傍聴室を用意した。



千葉市役所新庁舎
(写真提供=千葉市)



議場
(同左)